令和４年度
地域経済動向調査レポート
（中小企業景況調査報告書）

－グラフで見る高島市の景況－

令和４年	４月～　６月	実績
令和４年	７月～　９月	実績
令和４年	１０月～１２月	実績
令和５年	１月～　３月	実績
令和５年	４月～　６月	予想

目　次

Ⅰ　調査の概要 …… 1
Ⅱ　市内の景況 …… 2
Ⅲ　製造業の景況 …… 6
Ⅳ　建設業の景況 …… 9
Ⅴ　小売業の景況 ……１２
Ⅵ　サービス業の景況 ……１５

高 島 市 商 工 会

Ⅰ.中小企業景況調査の概要（高島市）

この調査は、商工会の経営改善普及事業の指導資料及び中小企業施策へ反映させるため、全国商工会連合会が中心となり昭和 54 年から四半期毎に全国一斉に実施している調査に併せて実施しているものです。平成 21 年 10 月からは景況調査企業数を 20 企業増やし、50 企業を調査しています。以下、高島市の景況調査の概要を報告します。

１．調査対象期間

令和４年４月から令和５年３月を対象とし、調査実施時点は第１四半期（6 月 2 日）、第２四半期（9 月 2 日）、第３四半期（11 月 11 日）第４四半期（3 月 1 日）としています。

２．調査の方法

商工会職員による訪問面接調査、WEB による回答調査

３．対象企業数

５０企業

企業規模　　製造業・建設業・・・資本金３億円以下又は従業員 300 人以下
　　小売業・サービス業・・・資本金５千万円以下又は従業員 50 人以下

４．　調査対象企業および回答企業数（調査対象企業数　50 企業）

業種	製造業	建設業	小売業	サービス業	合計
調査対象企業数	13	9	16	12	50
回答企業数	10	7	12	7	36

Ｄ・Ｉとは

本報告書の中で%以外に用いているＤ・Ｉ指数とはディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略です。

各調査項目について増加（上昇、好転、長期化）企業割合から減少（低下、悪化、短期化）企業割合を差し引いた値を示します。

Ｄ・Ｉがプラスなら強気（楽観）、マイナスなら弱気（悲観）を表します。

例えば売上高で増加企業 50%、不変企業 30%、減少企業 20%の場合、

Ｄ・Ｉ指数……50%－20%＝30 となり、全体として経営者の売上に対する強気の度合いを表しています。

Ⅱ．高島市内の産業全体の景況

前年同期（令和４年１月～３月）と比較した今期の状況を、前回調査時の結果と比較した結果は、以下の通りです。

【売上額】
製　造　業：「やや悪化」状態が継続
建　設　業：「悪化」から「特に悪化」へと悪化
小　売　業：「悪化」状態が継続
サービス業：「やや悪化」状態が継続

【採算】
製　造　業：「特に悪化」状態が「悪化」へと改善
建　設　業：「悪化」状態が継続
小　売　業：「特に悪化」状態が「悪化」へと改善
サービス業：「悪化」状態が「特に悪化」へと悪化

売上額について、前期（令和４年１０月～１２月）と比較した今期の状況を、前回調査時の結果と比較した結果は、以下の通りです。

【売上額】
製　造　業：「やや悪化」状態が継続
建　設　業：「やや好転」から「特に悪化」へと悪化
小　売　業：「特に悪化」状態が継続
サービス業：「特に悪化」状態が継続

採算について、今期の結果を前回調査時の結果と比較した結果は、以下の通りです。

【採算】
製　造　業：「悪化」状態が「やや悪化」へと好転
建　設　業：「好転」状態が「やや悪化」へと悪化
小　売　業：「悪化」状態が継続
サービス業：「悪化」から「特に悪化」へと悪化

前年同期（令和４年４月～６月）と比べた来期（令和５年４月～６月）の見通しを、前回調査時の結果と比較した結果は、以下の通りです。

【次期売上見通し】

製　造　業：「やや悪化」状態が継続
建　設　業：「悪化」から「特に悪化」へと悪化
小　売　業：「悪化」状態が継続
サービス業：「特に悪化」状態から「やや悪化」へと好転

【次期採算見通し】

製　造　業：「やや悪化」状態から「悪化」へと悪化
建　設　業：「悪化」から「特に悪化」へと悪化
小　売　業：「特に悪化」から「悪化」へと好転
サービス業：「特に悪化」状態が継続

また、今回調査において「経営上の問題点」として最も多かった回答は次の通りです。

【経営上の問題点】

製　造　業：原材料価格の上昇
建　設　業：需要の停滞
小　売　業：消費者ニーズの変化への対応
サービス業：需要の停滞

業種別景況指標

【景気の売上額Ｄ・Ｉによる天気図】

（　対昨年同期比売上推移　および　来期の売上見通し　）

	令和４年 １月～３月	４月～６月	７～９月	10～12月	１月～３月	（予想） ４月～６月
製造業						
建設業						
小売業						
サービス業						

（　対前四半期比　売上推移　）

	10月～12月	令和４年 １月～３月	4～6月	7～9月	10月～12月	令和５年 1～3月
製造業						
建設業						
小売業						
サービス業						

※天気図の読み方

Ｄ・Ｉ値	50.1～100.0	25.1～50.0	0.1～25.0
指　標			
内　容	特に好転	好転	やや好転
Ｄ・Ｉ値	0.0～△25.0	△25.1～△50.0	△50.1～△100.0
指　標			
内　容	やや悪化	悪化	特に悪化

【景気の採算額Ｄ・Ｉによる天気図】

（　対前年同期比採算推移　および　来期の採算見通し）

	令和４年 １月～３月	４月～６月	７月～９月	10～12 月	令和５年 １月～３月	（予想） ４月～６月
製造業						
建設業						
小売業						
サービス業						

（　今期(令和５年１月～３月)の採算水準　推移　）

	10 月～12 月	令和４年 １月～３月	４月～６月	７～９月	10 月～12 月	令和５年 １月～３月
製造業						
建設業						
小売業						
サービス業						

※天気図の読み方

Ｄ・Ｉ値	50.1～100.0	25.1～50.0	0.1～25.0
指　標			
内　容	特に好転	好転	やや好転
Ｄ・Ｉ値	0.0～△25.0	△25.1～△50.0	△50.1～△100.0
指　標			
内　容	やや悪化	悪化	特に悪化

Ⅲ．製造業の景況

（１）売上額の状況

前年同期に比べて、増加企業 25.00％に対して減少企業は 33.33％であり、減少企業が 8.3 ポイント上回っています。

また、前回調査との比較では、増加企業 33.33％に対し、減少企業 58.33％であり、減少企業が 25.0 ポイント上回っています。

（２）採算の状況

前年同期に比べて、好転企業 16.67％に対して悪化企業が 66.67％であり、悪化企業が 50.0 ポイント上回っています。

また、当期の採算については、好転企業 25.00％に対し、悪化企業 50.00％で、悪化企業が 25.0 ポイント上回っています。

（３）経営上の問題点

企業が第１位に挙げた問題点で最も多かった回答は、「原材料価格の上昇」が 38.5％であり、次いで「需要の停滞」が 23.1％と続いております。

この回答を上位１～３位までの総合計で見ると、最も多かった回答は「原材料価格の上昇」が 25.6％、次いで「需要の停滞」が 15.4％、と続いています。

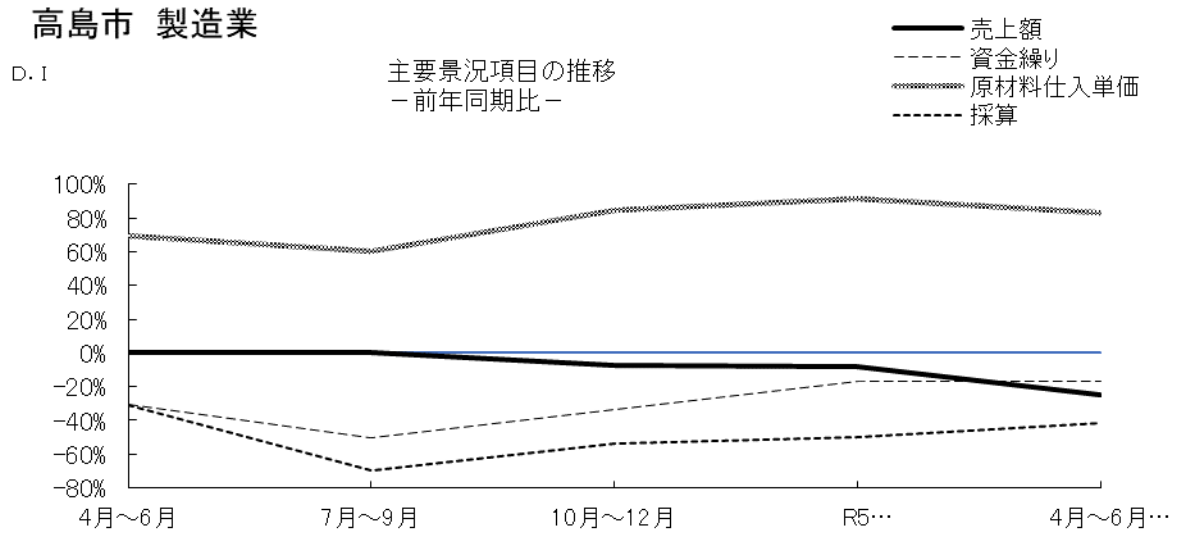
（４）自社の業況について

・昨年度より続く原油価格の高止まりや電気代や燃料費の相次ぐ値上げにより経費の負担が増加している。今後はインバウンドや観光地への集客には期待が出来るため、来期の巻き返しを図りたいと思う。

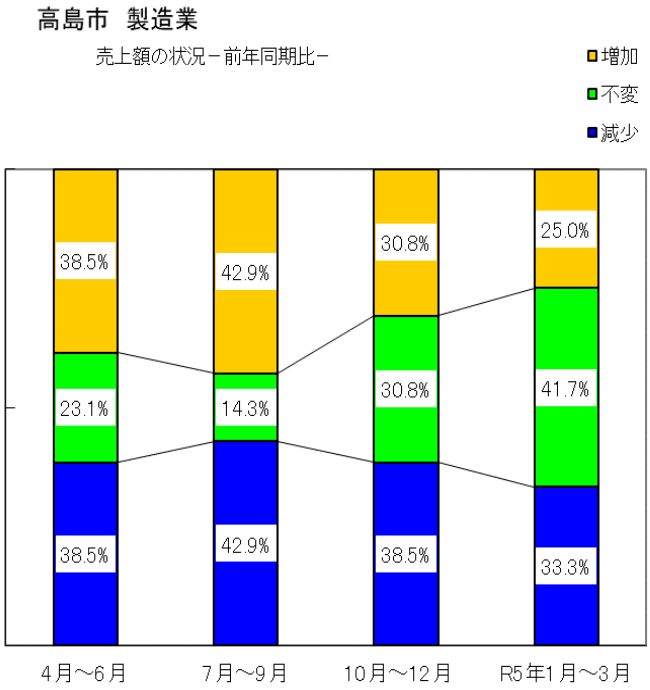
・単価が上がらないため、物価高分を補えない。

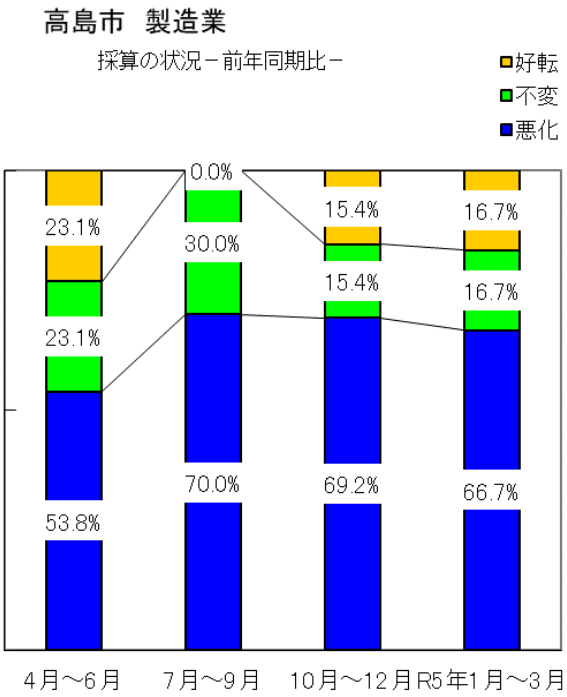
【主要４指標の対前年同期比 DI 指数の推移と来期 DI 予測】

	４月～６月	７月～９月	10 月～12 月	R5 年 １月～３月	（予測） ４月～６月
売上額	0.0	0.0	-7.7	-8.3	-25.0
資金繰り	-30.8	-50.0	-33.3	-16.7	-16.7
原材料仕入単価	69.2	60.0	84.6	91.7	83.3
採算	-30.8	-70.0	-53.8	-50.0	-41.7



【売上・採算における前年同期比回答割合の推移】





Ⅳ．建設業の景況

（１）完成工事額の状況

前年同期に比べて、増加企業 0%に対して減少企業が 66.67%であり、減少企業が 66.7 ポイント上回っています。

また、前回調査との比較では、増加企業 0%に対して減少企業 83.33%であり、増加企業が 83.3 ポイント上回っています。

（２）採算の状況

前年同期に比べて、好転企業 0%に対して悪化企業が 50.00%であり、悪化企業が 50.00 ポイント上回っています。

また、当期の採算については、好転企業 0%に対して悪化企業 0%で、同ポイントとなっています。

（３）経営上の問題点

企業が第１位に挙げた問題点で最も多かった回答は、「材料価格の上昇」、が 60.0%であり、次いで「従業員の確保難」、「需要の停滞」が同率 20.0%と続いています。

この回答を上位１～３位までの総合計で見ると、最も多かった回答は「需要の停滞」が 26.7%であり、次いで「材料価格の上昇」が 20.0%と続いています。

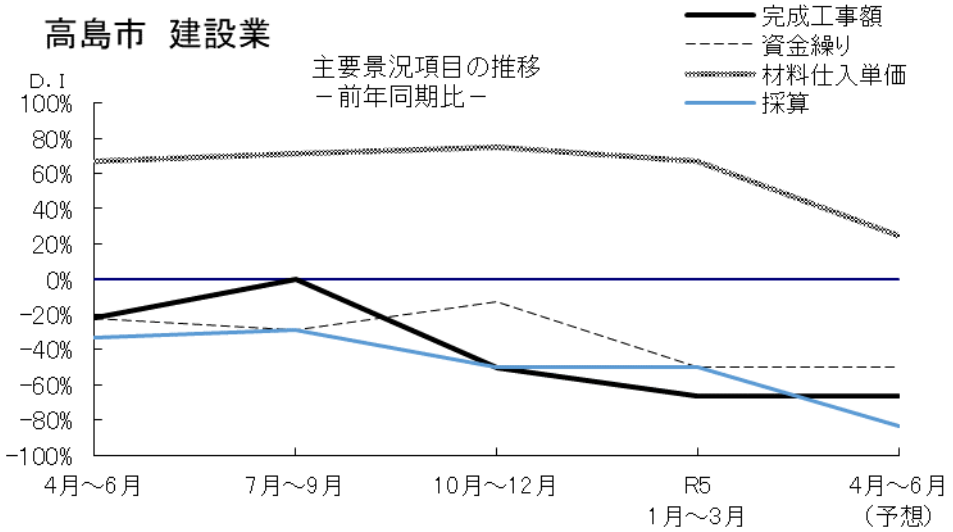
（４）自社の業況について

・こどもの数が減っています。まずはそれからでは。

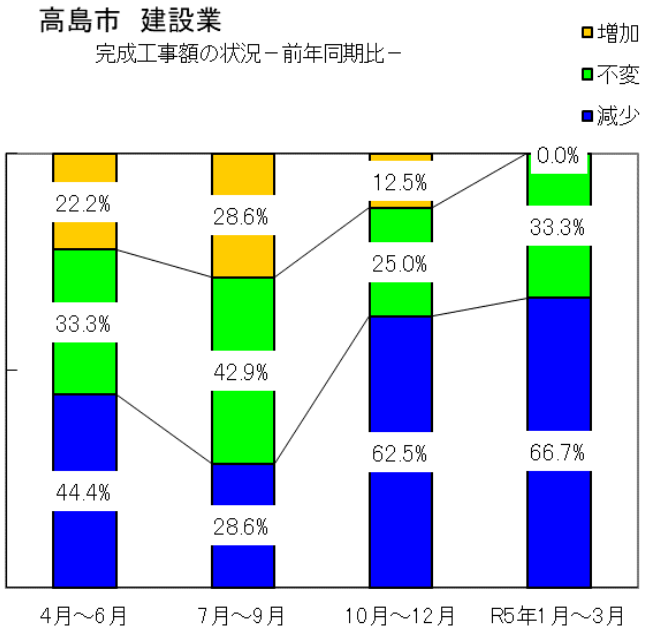
・仕入値の上昇と客予算減額により提案が難しくなっている。

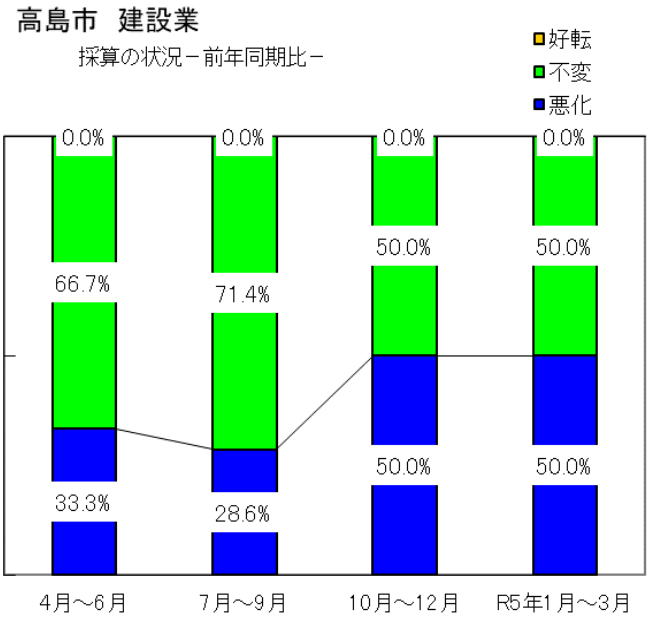
【主要 4 指標の対前年同期比 DI 指数の推移と来期 DI 予測】

	4 月～6 月	7 月～9 月	10 月～12 月	R5 年 1 月～3 月	(予測) 4 月～6 月
完成工事額	-22.2	0.0	-50	-66.7	-66.7
資金繰り	-22.2	-28.6	-12.5	-50.0	-50.0
材料仕入単価	66.7	71.4	75	66.7	25.0
採算	-33.3	-28.6	-50	-50.0	-83.3



【売上・採算における前年同期比回答割合の推移】





Ⅴ．小売業の景況

（１）売上額の状況

前年同期に比べて、増加企業が 20.00％に対して減少企業が 60.00％でであり、減少企業が 40.0 ポイント高くなっています。

また、前回調査との比較では、増加企業 10.0％に対して減少企業 70.00％であり、減少企業が 60.00 ポイント高くなっています。

（２）採算の状況

前年同期に比べて、好転企業が 0％に対して悪化企業が 50.00％で、悪化企業が 50.0 ポイント上回っています。

また、前回調査との比較では、好転企業 0％に対し、悪化企業 50.00％であり、悪化企業が 50.0 ポイント上回っています。

（３）経営上の問題点

企業が第１位に挙げた問題点で最も多かった回答は、「仕入単価の上昇」、「消費者ニーズの変化への対応」が同率で 33.3％であり「購買力の他地域への流出」、「従業員の確保難」、「需要の停滞」が同率で 11.1％と続いています。

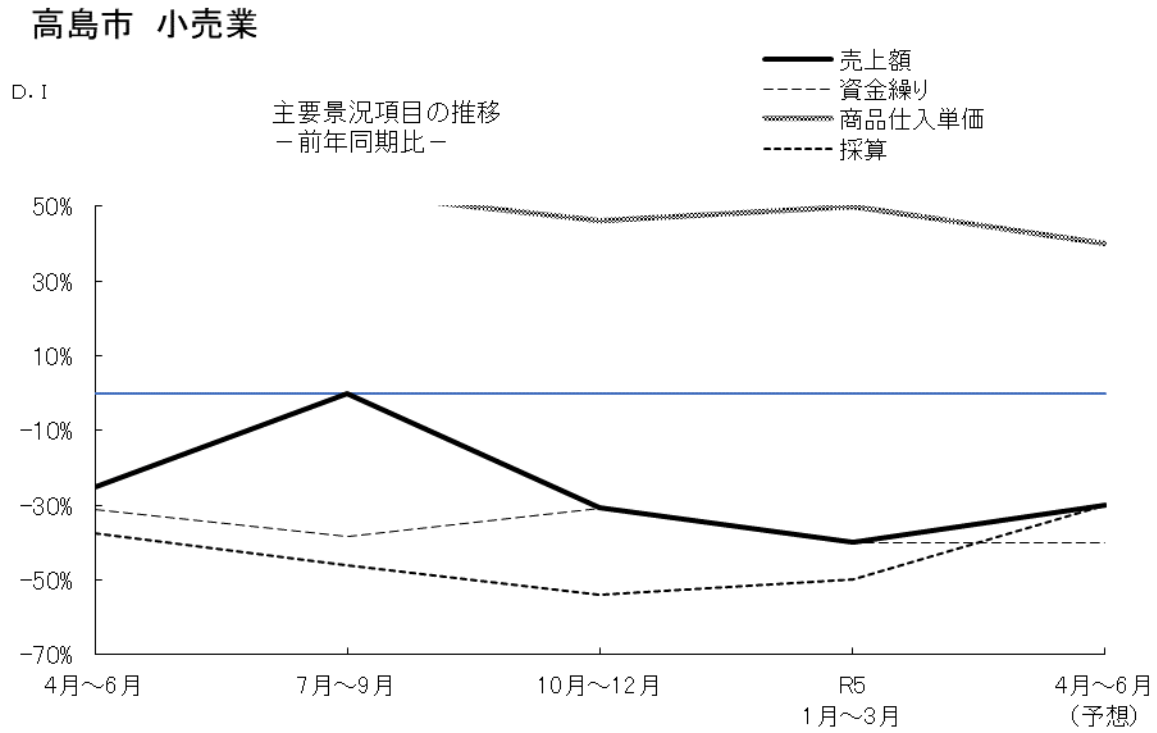
この回答を上位１～３位までの総合計で見ると、最も多かった回答は「消費者ニーズの変化への対応」が 24.0％であり、次いで「仕入単価の上昇」、「需要の停滞」が同率 20.0％と続いています。

（４）自社の業況について

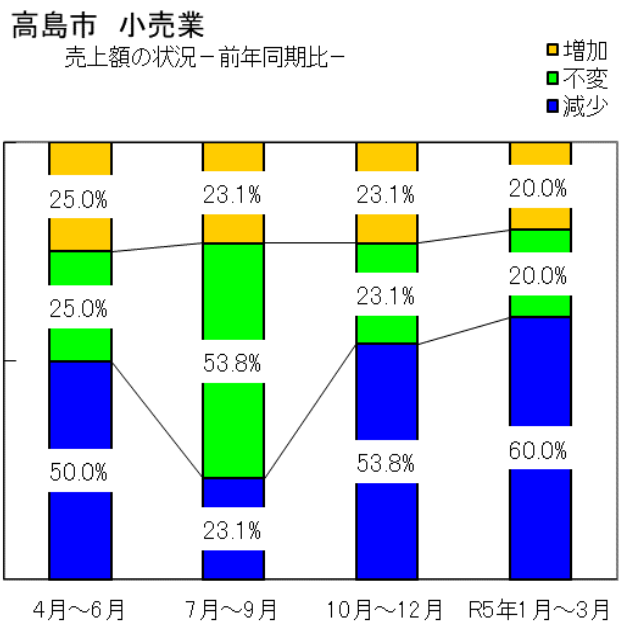
・原材料仕入れの高騰が止まらず、商品をその度に値上げする事もできないので利益があがらず大変な状況が続いています。
・人がこない。

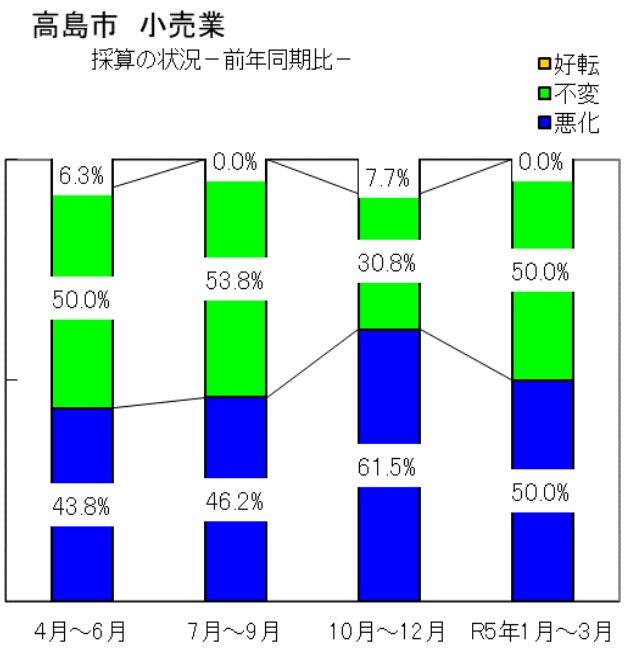
【主要４指標の対前年同期比 DI 指数の推移と来期 DI 予測】

	４月～６月	７月～９月	10 月～12 月	R5 年 １月～３月	(予測) ４月～６月
売上額	-25.0	0.0	-30.8	-40.0	-30.0
資金繰り	-31.3	-38.5	-30.8	-40.0	-40.0
商品仕入単価	62.5	53.8	46.2	50.0	40.0
採算	-37.5	-46.2	-53.8	-50.0	-30.0



【売上・採算における前年同期比回答割合の推移】





Ⅵ．サービス業の景況

（１）売上額の状況

前年同期に比べて、増加企業は 12.50％に対して減少企業が 37.50％で、減少企業が 25.0 ポイント上回っています。

また、前回調査との比較では、増加企業 0％に対して減少企業が 75.00％であり、減少企業が 75.0 ポイント上回っています。

（２）採算の状況

前年同期に比べて、好転企業は 0.0％に対して悪化企業が 100.0％で、悪化企業が 100 ポイント上回っています。

また、前回調査との比較では、好転企業 0.0％に対し、悪化企業 66.67％であり、悪化企業が 66.7 ポイント上回っています。

（３）経営上の問題点

企業が第１位に挙げた問題点で最も多かった回答は、「材料等仕入単価の上昇」が 50.0％となっております。

この回答を上位１～３位までの総合計で見ると、最も多かった回答は「需要の停滞」が 20.8％であり、次いで「利用者ニーズの変化への対応」、「材料等仕入単価の上昇」が同率 16.7％と続いています。

（４）自社の業況について

・光熱費が上昇し、そこでお客様に対して、料金をアップするかを悩んでいます。来て下さる回数が減少してしまうがですね。

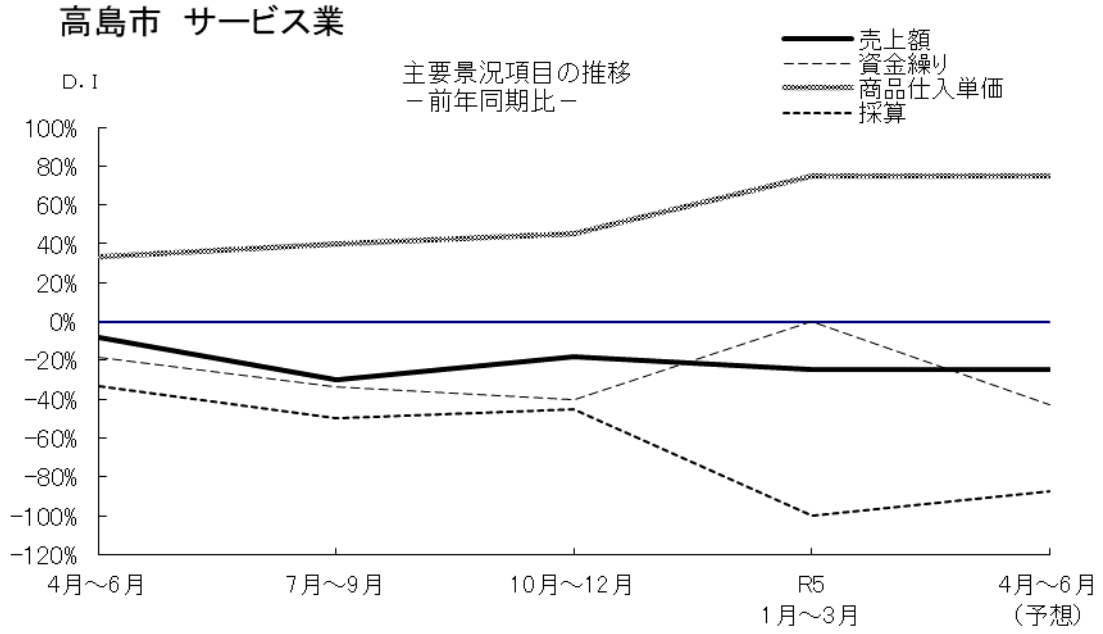
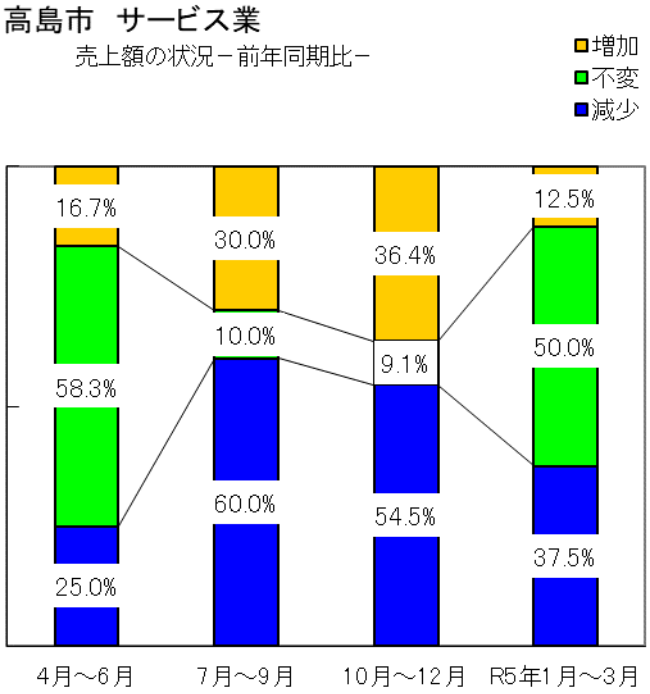
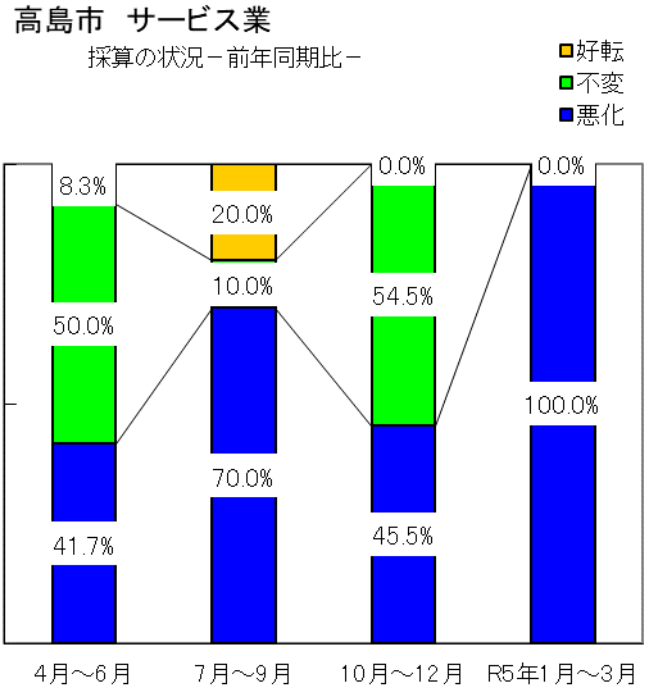
・原材料費や光熱水費の増加が顕著となっている。直接消費者への販売をおこなっているので製造原価の上昇に見合った販売価格を設定することは可能だが、消費客単価も合わせて増加するかについては、些か疑問がある。

・コロナ、インフレ、物価高　により長引く不況に対する支援策が、減ってきているし、代り映えしない。新たな支援策をどんどん講じてほしい。

・中国から購入を行い部品供給を行っておりますが、昨今の原油値上げりと円高の為にかなり厳しい状況に陥っております。この状況が続くようであれば、長期展望は望めないように感じます。

【主要４指標の対前年同期比 DI 指数の推移と来期 DI 予測】

	４月～６月	７月～９月	10 月～12 月	R5 年 １月～３月	(予測) ４月～６月
売上額	-8.3	-30.0	-18.2	-25.0	-25.0
資金繰り	-18.2	-33.3	-40.0	0.0	-42.9
商品仕入単価	33.3	40.0	45.5	75.0	75.0
採算	-33.3	-50.0	-45.5	-100.0	-87.5



【売上・採算における前年同期比回答割合の推移】